

学校教育って何ですか？

南陽市教育委員会教育委員 長嶋 祐子

昨年度より、縁あって教育委員を務めさせていただいておりますが、「学校教育とは何か」、はっきりとした考えを持つに至っておりません。私は学識経験者でもありませんし、社会経験も乏しいただの一母親です。

我が家には小中高と三人の子供がいます。そして子供たちの父親である夫は、単身赴任をしているので、家事育児はすべて私が担っています。今流行りの、ワンオペ育児です。実家の両親も、同居する義母も、年齢や体調の面から、“孫の世話”も難しい状況です。こうなってくると、育児とは何か、教育とは何かなどと考えている余裕はありません。日々スポ少や習い事などの送迎と、食べさせることで精一杯で、せいぜい人様にご迷惑をかけることのない自立した人間になればよいと、本能だけで育てています。

そんな生活でも、三人子供がいるということでそれぞれのコミュニティができ、私も必然的にあちこちに属することになります。学校ボランティアや役員などです。ただ本が好きというだけで図書や読み語りのボランティアをさせていただいておりますが、おかげで学校へ伺う機会が多く、子供たちの様子を見ることもありますし、先生方とお話しすることも多々あります。これは日々の生活に追われている私にとって、大変ありがたい機会です。自宅でゆっくりと子供たちの話を聞く時間などなかなかとれませんが、学校へ行けば自分の子供だけでなく、そ

の友達からも様子を聞いたりできます。一言二言でも、先生とお話することもできます。

そんな中で、今の親や世間一般の考え方として、学校教育に何もかも求めすぎなのではないかと思うときがあります。少子化や人口流出の問題もあるのですが、子供たちや先生方に期待しすぎなのではないでしょうか。初めは「やればできる」ということが、だんだん「やらなければダメ」という意識になることがあります。しかし、それによって余裕がなくなったり、プレッシャーになったりするようでは、心身ともに疲弊してしまいます。先生方も然りです。教育現場について詳しいわけではない私でも、以前と違い子供たちと向き合って勉強を教えていけばいいという世の中ではなく、先生方の時間外労働や負担も多さを感じることもあります。恥ずかしながら、私も長男一人を育てていたときは、あれも、これもと思えばかりが先行し、余裕のない生活を送っていました。今考えると、もっと遊んであげたり、どこかへ連れて行ったりしてあげればよかったと思います。

現代に生きる子供たちは、大変忙しい毎日を過ごしています。将来のための日々努力や、新しく何かを始めることも素晴らしいことだと思いますが、何かをやめることや縮小することも大事なことなのではないでしょうか。放課後に友達と拾った小石がキレイだったと思い出せるような人生を送ってほしいと思います。

「みんなにっこり！おもしろネットワーク」とは、平成13年度より、県警察が県、教育委員会、市町村との連携のもとに、県内の中学校区の中から、モデル学校区を指定して始めた、家庭、学校、地域が一体となった地域ネットワークの一つで、旧沖郷中学区にあった「おもしろネットワーク」と旧梨郷中学区にあった「にっこりネットワーク」が母体となったものです。子どもたちを非行や犯罪被害から守るために、日常から子どもたちの規範意識を醸成し、「やっていいこと悪いこと」「危険から身を守ることを理解させたり、子どもたちが健全に育つために、好ましくない環境を浄化したりするなど、家庭、学校、地域が連携して、子どもの健全育成、非行防止、犯罪被害防止を目的として平成21年度より活動を行っています。

みんなにっこり！おもしろネットワーク

米部・おもしろネットワークと 沖郷中学校1年生81名 のコラボレーション 沖郷の米づくり体験



今年度の主な活動予定	
合同パトロール	祭り期間
県下一斉少年非行防止の日キャンペーンへの参加	学警連活動と連携
学習ボランティア	8月
小中クリーン作戦	10月
赤湯駅フラワーロード作戦	5月～8月
自転車の鍵かけ指導への参加	4月・9月
みんなにっこり！米づくり体験	5月～11月
冬の交通安全県民運動への参加	11月・12月
安全見守り隊	通年
子ども110番連絡所	4月
通学路、危険箇所点検	7月
横断補助・あいさつ運動の実施	通年
安全マップ作成	それぞれの地区で
地域懇談会	7月
少年犯罪を考える2017への参加	7月
意見交換会	11月
薬物乱用防止教室(各小中学校で実施)	11月～1月
不審者対応教室(各小中学校で実施)	5月～1月
非行防止教室(各小中学校で実施)	5月～11月
にっこり！おもしろネットワーク協議会	5月・2月
にっこり！おもしろネットワーク事務局会	5月・10月・11月・1月

南陽市立沖郷中学校1年生81名が、南陽市内でまちづくりに取り組んでいる若者グループ「米部」の指導のもと、「おもしろネットワーク」の方々、若手警察官「元気塾」の方々、少年補導員の方、地域の方々とともに米づくりをしました。おらだ沖郷中1年生の自慢は「笑顔！」この米づくりに関わっているときもいつも「笑顔」でした。おらだの「あいあい精神（教え合い、学び合い、認め合い）」でたくさんの方に「あい」を届けようという意気込みで米づくりを行いました。



おらだと稲のどちらがおがっている（成長できている）か競争するために、収穫する時までの目標を書いた紙を稲が育つであろう高さに張りました。

田植え



草刈り・作溝

(7月30日)

久しぶりに田んぼに来ると、稲がすくすくおがっていました。それと一緒に、雑草もおがっていました。おいしいお米がいっぱいとれるように、田んぼの畔の草刈りを行いました。



応援・合唱・川柳読み聞かせ

(9月3日)

このお米は、おらだの愛情をたっぷり注いで育て、普段お世話になっている地域の方々に食べていただき、感謝の気持ちを伝えたいと考えました。



指導して下さる米部と初顔合わせ

(5月22日)

米部の皆さんと初めてお会いしました。米ができるまでの工程や米づくりの楽しさを教えてくれました。いろいろな質問にも優しく丁寧に答えくださり、とても楽しみになりました。



(6月1日)

田んぼの泥に足を取られ、慣れない手つきで田植えをする生徒たち。米部の方々やネットワークの方々の適切なアドバイスのおかげで、最後までやり遂げました。



おらだの目標

- ・集中して学習に取り組めるようになりたい
- ・野球がうまくなりたい
- ・地域の誰にでも明るくあいさつしたい



稲刈り

(10月2日)

稲刈りをしました。稲は見事な穂をつけて、頭を垂れて黄金色に輝いていました。あっという間に刈り終わるかと思ったら、予定した時間になっても刈り終わりませんでした。「もっとしっかりかき上げる（働ける）ようにおがらない（成長しない）となぁ」と感じました。



収穫感謝祭

(11月14日)

米づくりでお世話になったネットワークの方々、意見交換会に参加した方々に、土鍋を使って炊いたお米でおにぎりを作り、参加者全員で会食。感謝！感謝！

ジェイ先生紹介

ジェイ先生からメッセージ

Hello everyone. My name Jay and I have been the Junior High School ALT for Nanyo since last August. I visit each Junior High School for one month at a time and teach the students participating in the English speech contest. Right now, I am at Okigo JHS for the summer.

Soon, I will have finished my first year teaching English in Nanyo City. And what a year it has been! I have learnt a lot from both the students and the teachers, and I have really enjoyed teaching English here. Going all the way to the Tohoku tournament for the speech contest was another highlight for me. I look forward to finishing my first year here strong with the upcoming, first Nanyo English camp in July and English speech contest preparation over the summer.

I have always tried my best to prepare fun and interesting teaching materials. But now that I have experienced everything in the school calendar once, I hope that I can be even more helpful next year.

Thank you to all the students, teachers, and people in Nanyo for allowing me to have such a great first year, and here's to an even better second year!

皆さん、こんにちは！去年の8月から南陽市中学校のALTになったジェイです。それぞれの中学校を1か月ずつ回り、英語弁論大会に出場する生徒たちにも教えています。夏の間は沖郷中学校にいます。

もうすぐ私が南陽市で英語を教え始めてから一年が過ぎようとしています。すばらしい一年間でした！生徒たちから、そして先生方からたくさんのお話を学ばせてもらい、南陽市で英語を教えることをとても楽しんでます。去年は東北英弁論大会まで進めたことも、私にとってこの一年間の一つのハイライトです。今年の夏の英弁練習や7月に行われる南陽市初のイングリッシュキャンプを通じて、この一年間を良い形で終わるように頑張ります！

面白くて、楽しい授業にできるようにいつも頑張っていました。さらに、学校生活を一回一周して来た経験を活かして二年目でもっと役に立つように頑張りたいです。

生徒の皆さん、先生方、そして南陽市の皆さん、素晴らしい一年目を経験させていただいてありがとうございました！そして、三年目もよろしくお祈りします！



英語弁論大会でもお世話になりました

Jay Kraemer-Jones(ジェイクレイマー ジョーンズ)先生はドイツ・フランクフルト出身の26歳です。趣味はランニング、太鼓、読書、日本語を勉強すること、旅行、友達と遊ぶこと、新しいことに挑戦することなどです。Jay先生はビーガン(完全菜食主義)でお家ではおいしいビーガン料理も作っているそうです。学生時代は立命館大学に留学し、太鼓クラブとテコンドー部に所属していました。イギリスにあるCardiff大学で日本語とビジネスを専攻され、ロンドンで国際税理士として働いていました。Jay先生は猫が好きでドイツの自宅でも2匹飼われています。過去にダイビング、スカイダイビングもしたことがあり、次はバンジージャンプにチャレンジしたいそうです。

(聞き手：高橋雅之(宮内中学校))

【編集後記】

この原稿を構想中に、ある法案が参議院本会議で可決成立した。しかも、委員会の採決を経ない裏技採決である。その委員会にしても、国会が公開する動画を見る限り、真摯に審議がなされたとは到底思えない。少数意見に配慮し議論を尽くしてこそその議会制民主主義だと思いが、国論を二分する法案が議会軽視の無茶苦茶な手続きで決められたことに衝撃を受けている。「平和で民主的な国家及び社会の形成者」の育成に携わる我々は、この現実はどう向き合えば良いのか。

さて、次期学習指導要領の目玉が「道徳」の教科化であることは、「総則」における「道徳」関連の記述の多さに見て取れる。教科化には「評価」を伴う。「児童生徒が多様な見方や考え方に接しながら、更に新しい見方や考え方を生み出していくことができるよう留意する。」とあるが、「道徳」では「評価」そのものに、評価者の価値観を押し付ける危険性が孕む。しかも、良い評価を得んための「自発性」と損得抜ききの「内発性」を評価者が区別できないと、周囲からの視線ばかり気にする浅ましい輩を量産しかねない。教科化にあたって、我々はこれらの「評価」に関わる課題を克服していかなければならない。

ところで、今朝成立した「法」には、計画段階での処罰が含まれるので、「内心」への処罰が可能と解釈できる。一方、「道徳」の「評価」も突き詰めれば「内心」の評価であり、「内心」を対象とするという点で成立した「法」と地続きの関係にある。「道徳」が「教科化」される意味は、想像以上に重いのかもしれない。

(安藤 淳)

【情報センター員】

◎安藤 淳(宮内中学校) ○大地 浩幸(中川小学校)
 内山 剛嗣(沖郷小学校) 佐藤 裕介(梨郷小学校) 後藤 昌幸(赤湯小学校) 網代 良一(中川小学校)
 加藤 直人(宮内小学校) 加川 雅人(漆山小学校) 遠藤 隆平(沖郷中学校) 高橋 良行(赤湯中学校)
 高橋 雅之(宮内中学校) 矢野 斉(南陽市教委)